

エボラ出血熱対策に関する WHO ミッションへの日本人専門家参加の概要

参加する専門家：公益財団法人労働科学研究所 国際協力センター長
吉川 徹 （よしかわ とおる） 医師

訪問予定先： リベリア

参加期間：平成 26 年 11 月 19 日～平成 27 年 2 月（約 3 か月）

目的：エボラ出血熱対策に関する WHO ミッションに専門家として参加し、エボラ出血熱対策のために派遣されたスタッフの健康・安全管理や、現地当局へのエボラ出血熱対策に関する技術的助言等を行う。

過去の実績：平成 12 年にウガンダにおいてエボラ出血熱の流行が発生した際、WHO の要請を受けて、3 回にわたり計 5 人（延べ 6 人）の専門家が派遣されています。

平成 24 年にウガンダにおいてエボラ出血熱の流行が発生した際、WHO の要請を受けて、1 名の専門家が派遣されています。

平成 26 年 5 月と 8 月にリベリアに、7 月にシエラレオネに、10 月にシエラレオネに、WHO の要請を受けて、エボラ出血熱対策の専門家として、5 名（延べ 6 名）の専門家が派遣されています。

参考（厚生労働省検疫所ホームページ）：

・エボラ出血熱

<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name48.html>